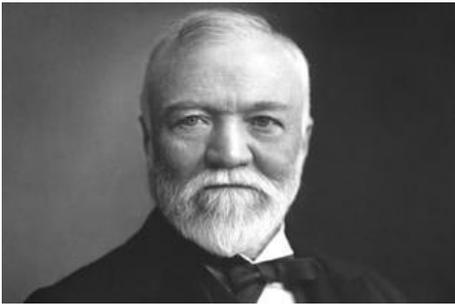


この学校にわたしたち

2022. 12. 23 N053

「清く貧しい家庭に育った子どもは、裕福な家庭の子どもとは違い、かけがえのない宝物を与えられている。」



この言葉は 鉄鋼王と称されたアンドリュー・カーネギーの名言の一つです。貧しい家庭に生まれ、親の仕事の関係で遠く離れた地に引っ越しを余儀なくされ、その引っ越しの費用を借金で賄わなければならなかったため、家庭は非常に苦しい生活であったと言われてい

ます。しかし、両親は“子どもに正しい人生を歩ませるためには家庭を楽しい環境にすること”との考えの元、母親は近所の子どもを自らの家に呼んで遊ばせるなど、悩める人にできることをすすんでやっていたそうです。そんなカーネギーは両親を誇りと感じているからこそ、この名言のように自身の家庭環境を「かけがえのない宝物」という言葉で表現したのでしょう。

私は高度経済成長期に生まれ、“学力至上主義”“受験戦争”という言葉聞きながら、また“バブル経済”という時代の中で育ってきました。戦争中に生きていないので、当たり前のように食べ物があり、おもちゃがあり、学校があり…決して裕福な家庭ではありませんでしたが、不自由することはなく大人になりました。しかし、今、時代が一変し、経済・産業・環境、そして新型コロナウイルス感染症など世界は簡単に解決できないたくさんの課題に直面しています。報道では、いい大学に進学したり、大手企業に入社したりしたあと、行けなくなってやめてしまったという人が増えていると伝えていました。子どもたちが進んでいくこれからの社会は決して楽観できるものではないと思われま

皆様に感謝！

4月に学校長として赴任して8か月。ニュースや読んだ本、出会った知人から聞いた話を学校だよりとして思いつくまま書いてきました。地域や保護者の方から「すごいなあ」「勉強になるわ」などと声をかけていただき、中には地域外からも学校だよりがほしいとの連絡もいただき驚いています。私は①もともと文章を書くのが苦手②飽き性などから担任をしている時の学級通信も13号が最高の枚数で、子どもたちがつながってほしいとの願いから『たけのこ』という名前で発行していましたが仲のよい保護者から「先生、“たけのこ”だから春しか発行しないの？“まっただけ“に変えたら？”と笑いながら言われたことを覚えています。53号も書けたのは皆様の励ましのおかげです。